

す あ だ い ね ！ 子 ど も の た ち Vol.11

スポーツに
文化に
大活躍!!

平成26年2月に足立区
教育委員会児童・生徒褒
賞式が行われました。区
長褒賞と教育委員会褒賞
を合わせて754人の子ども
たちがスポーツ・文化活
動の活躍をたたえられま
した。

さまざまな分野で全国
を舞台に活躍する”あだ
ちの子どもたち”。今後
さらに実力を磨き、2020年
には東京オリンピックで
活躍する姿を見ることが
できるかもしれません。

※受賞者一覧を区ホームページに
掲載しています。



第30回全国少年少女レスリング選手権大会

小学生の部 3年生33kg 準優勝

千寿常東小学校4年 もろ あやの 茂呂綾乃さん

格闘技経験者のお父さんの影響で茂呂さんは自然とレスリングに興味を持ち、5歳のころから競技を始めました。茂呂さんの努力は数々の全国大会優勝という形で実っています。

平成25年10月までは、アメリカでも大活躍した女子総合格闘技の藤井恵選手に指導を受けていました。

あこがれの藤井選手の引退試合終了後、茂呂さんは涙が止まりませんでした。すると、藤井選手が近づいてきて「綾乃が私をオリンピックに連れていって」と声をかけてくれました。

「オリンピックで金メダルを獲りたい」と話す茂呂さんは、ハードな練習を重ね、藤井選手がくれた赤いリストバンドをつけて試合に臨み、夢への道を進んでいきます。



第17回

全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール

中学生の部

環境大臣賞 第十中学校3年
東京ガス特別賞 第十中学校3年

こじま みやこ
小島雅子さん
たかぎ まな
高木 愛さん



第十中学校美術部の小島さんと高木さんがダブル受賞を達成しました。受賞の知らせを受けたとき、二人は驚きと喜びを隠せなかったと言います。ともに全国規模の絵画コンクールにおいて、初めての受賞でした。小島さんは海、高木さんは陸の生き物との共存を通して環境保護の大切さを表現しました。

顧問の鋤形先生は「小島さんはダイナミック、高木さんは緻密」だと二人の絵の表現方法を語ります。描き方は異なりますが、表現力を磨くことへの向上心は尽きません。小島さんは「今回は2位相当の賞だったので、もっといい絵を描いて、全国で一番になりたい」、高木さんは「グラデーションの表現を上手にして、リアリティのある絵を描きたい」と目標を語ってくれました。



第22回全国小学生作文コンクール

「わたしのまちのおまわりさん」

高学年の部 内閣総理大臣賞

おおすか ななみ
第十四中学校1年 大須賀虹望さん

※受賞時は竹の塚小学校6年生



4千点を超える応募作品の中で内閣総理大臣賞を受賞したことに、大須賀さんは両親と一緒に驚き、喜びました。

作文では、大須賀さんが3歳のころ、コンビニの駐車場で車にひかれそうになったところを助けてくれたおまわりさんへの感謝の気持ちを伝えています。それ以来、おまわりさんが大須賀さんのヒーロー的存在になりました。「人に助けられることが多かった」と大須賀さんが言うように、小さいころに入院した病院でお母さんが恋しくなったときや、苦い薬を飲まなくてはいけないうきに、お医者さんが励ましてくれました。病気を治してくれたお医者さんを魔法使いみたいだと感激しました。

大須賀さんはこれらの経験から、「私も人を助けたい」と思うようになり誰かの「ヒーロー」になれるよう人を助けることができる職業をめざしています。